NIE実践報告

1．タイトル：新聞をデータベースとして活用する試み（２年次）

２．学校名

鳴門教育大学附属中学校

３．実践者名（代表者名）

第３学年（大井育代

４．学年

第３学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語科・総合的な学習の時間　１５８名

６．単元（本時の学習課題）名

「今，わたしにできること」―東日本大震災におけることばの力―，「徳島未来構想」―模擬県議会をしよう―

７．目標(狙い)

国語科における，新聞をデータベースとして情報活用する学習を基礎・基本として，総合的な学習の時間でも，新聞を活用した調べ学習や自分の考えを創る活動を行う。

８．評価の視点

新聞をデータベースとして活用することで，自分の考えを創るとともに，ものの見方を広げたり，深めたりすることができる。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

国語科　単元「今，わたしにできること」（５月）１０時間
総合的な学習の時間　「徳島未来構想」―模擬県議会を開こう―（６～１２月）４０時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

国語科　単元「今，わたしにできること」（５月）１０時間
① 教科書教材「メディア社会を生きる」から説明的文章の読み方を学習する。３時間
② 鳥瞰情報型の新聞記事とエピソード情報型の新聞記事を読み比べる。１時間
③ 新聞をデータベースとして，医療・福祉，教育，運輸・通信，メディア，産業，避難生活，支援，復興，原発，防災の視点から，東日本大震災の現状と課題を探る。３時間
④ 東日本大震災の状況下で，ことばはどのような力を持ちどうはたらいたかを調べて発表する。３時間
総合的な学習の時間　「徳島未来構想」―模擬県議会を開こう―（６～１２月）４０時間
① 徳島の現状と課題について，医療，福祉，文化・教育，観光，広報，安全・防災，運輸・通信，環境，産業，経済のテーマ別に調査分析し，クラス内発表会を持つ。　１５時間
② ２５年後の徳島県について議案を立てて，模擬県議会を開く。２０時間
③ 自分自身の生き方と未来の徳島についての考えを「１５歳の提言」として冊子にまとめる。６時間
国語科の学習の視点や思考方法が，総合的な学習の時間につながっていくように留意した。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

集めた新聞記事を小見出しをつけたボックスに入れて分類・整理することで，情報や思考の①可視化と②共有化ができていた。ことばは人にイメージや気持ちを伝えるとともに，自分の考えを深め，人と人とをつなぐはたらきがあると感じたようである。

12．成果と課題

1　新聞記事を分類・整理することで，信頼性の高いデータベースを作ることができた。
いつ・誰が書いたものなのかが明らかなので，安心して活用することができた。
2　ものごとを総合的に見たり，考えたりすることができた。
現状はどうか，何が課題か，どのような取り組みが行われているかが必然的に浮かび上がってきた。
3　自己のあり方を社会のあり方とつないで追究することができた。
新聞に取り上げられている取り組みから，生徒の生活体験にない世界を補うことができた。